

日本看護技術学会第17回学術集会

移動動作評価班交流セッション報告書



移乗動作Q&Aの作成に向けての検討

日 時：2018年9月9日（日）

会 場：青森県立保健大学（青森県）

参加者数：14名

今回の交流セッションは、2017年の交流セッションでの意見をふまえて「改訂移乗動作Q&A」を作成したので、その報告をし再度参加者との意見交換を図りました。

Q&Aの主な修正点は、基礎編では、必要な知識のみを絞ったこと、ボディメカニクスに関する文献の明示、代表的な移乗用具の明示を行ったことである。実践編については、昨年はアルゴリズムという表現を用いていたが分かりにくいという指摘があったため、対象条件に応じた移乗動作や用具へと導かれるフローチャートに変更して示しました。さらにQ&A上の解説文を短くし、移乗動作の手順や留意点はチェックリストの形式に変更しました。このことについて、参加者から助言や提案をいただき、より洗練したものを日本看護技術学会ホームページで公開を開始しました。

日本看護技術学会第17回学術集会交流セッション4

改訂「用具を使って楽に移乗介助を！Q&A 2018」の作成に向けての検討

移動動作評価グループ

西田直子¹ 水戸優子² 國澤尚子³ 平田美和⁴

若村智子⁵ 小林由実² 富田川智志⁶

¹京都学園大学 ²神奈川県立保健福祉大学

³医療生協さいたま地域社会と健康研究所 ⁴東京医療保健大学

⁵京都大学 ⁶京都女子大学

活動の背景

平成25年、厚生労働省労働基準局

「職場における腰痛予防対策指針」改訂

「福祉・医療分野等における介護・看護作業」

平成26年、厚生労働省 中央労働災害防止協会
腰痛予防対策講習会テキスト

「医療保健業の労働災害防止（看護従事者の腰痛予防対策）」

「社会福祉施設の労働災害防止（介護従事者の腰痛予防対策）」

職場における腰痛予防対策指針の改訂

- 平成25年6月に「職場における腰痛予防対策指針」が19年ぶりに改訂されました。
- 改訂指針及び解説の全文は、厚生労働省HPに掲載されています。URLは次の通りです。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/yotsuushishin.html>

交流セッションの目的

平成27年より移動動作ガイドラインに基づく安全・安楽な移動方法の検討に取り組んだ。

平成28年には、対象の条件および生活場面に応じ、用具を使用した移動動作に関するDVDを作成した。第15回交流セッションでは、試作したDVDについて意見交換し、アンケートを回収した。

平成29年の第16回学術集会では、移動動作のうち移乗介助に焦点を当てて「用具を使って楽に移乗介助を！Q&A 2017」を試作し、交流セッションにて発表、参加者との意見交換、アンケートによる意見の聴取を行った。

意見内容には、移乗動作の留意点などを網羅していく有用であることや災害時用の移動方法が載っていることの肯定的意見が多くあったものの、文字が多く読みにくいことや、対象者が不明瞭であること、より根拠を明示すべきこと、ボディメカニクスに触れてほしいことなどが挙げられ、改善の余地が示された。

日本看護技術学会第18回学術集会

移動動作評価班交流セッション報告書



交流セッション会場の様子

移動動作評価グループのQ&Aが掲載されました（2018年9月5日）

改訂 用具を使って楽に移乗介助を！

Q&A



日本看護技術学会
技術研究成果検討委員会
移動動作評価グループ

日本看護技術学会技術研究成果検討委員会
移動動作評価班では「用具を使って楽に移乗介助を！Q&A」を作成しました。移動動作評価班は2008年から安全・安楽・自立支援に向けた移動・移乗技術の探究を行ってきました。2013年に厚生労働省から「職場の腰痛予防のガイドライン」が出されたことを受けて、「腰痛予防」と「用具」を使用した移乗方法を探求しQ&Aを完成しました。このQ&Aには、移乗動作の動画にリンクするQRコードと、移乗方法のチェックリストがついています。ご活用頂き、アンケートにて感想・意見を聞かせてください。

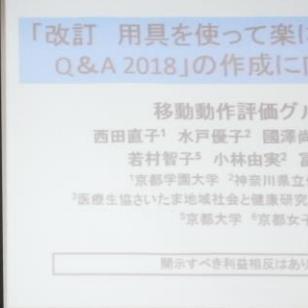
ガイドライン案ページ
用具を使って楽に移乗介助を！Q&A

移乗介助Q&Aアンケート(Googleアンケートフォーム)

- ◆今回の交流セッションは、昨年の意見をふまえて「改訂用具を使って楽に移乗介助を！Q&A 2018」を作成したので、その報告をし、再度参加者との意見交換を図りたい。
- ◆修正点は、基礎編では、必要な知識のみを絞ったこと、ボディメカニクスに関する文献の明示、代表的な移乗用具の明示を行ったことである。
- ◆実践編については、昨年はアルゴリズムという表現を用いていたが分かりにくいという指摘があったため、対象条件に応じた移乗動作や用具へと導かれるフローチャートに変更して示した。
- ◆Q&A上の解説文を短くし、移乗動作の手順や留意点はチェックリストの形式に変更した。
- ◆参加者から助言や提案をいただき、より洗練したものを日本看護技術学会ホームページで公開したいと考えている。
- ◆QRコードから携帯等でQ&Aに関連した動画を見られることも紹介する予定である。また、
- ◆看護基礎教育における移乗動作の教育的内容や演習の状況などについても、会場で意見交換をしたいと考えている。



西田班長の報告



メンバーでの記念撮影

技術研究成果検討委員会セッション

看護技術のちから！
ジェネラルナースの技術力を高めよう！

技術研究成果検討委員会
移動動作評価

移動動作評価グループ

西田直子¹ 水戸優子² 國澤尚子³ 平田美和⁴
若村智子⁵ 小林由実² 富田川智志⁶
¹京都学園大学 ²神奈川県立保健福祉大学
³医療生協さいたま地域社会と健康研究所 ⁴東京医療保健大学
⁵京都大学 ⁶京都女子大学

移動動作評価班の紹介

活動報告
2008年 患者が安全・安楽に移動や行動の動作がどれかのように支援する方法を検討する。そして、動作や支援方法を科学的に検証することに興味のある方に集まっています。ただしその方法や課題などを討議した。
2009年 交流セッションでの発表内容の確認と安全な移動動作を評議するためには、困難な点をKJ法を用いて検討し、文献セッションの発表内容を確認した。
2010年 移動動作に関する実態調査を会員対象に実施した。調査の集計と分析を行った。交流セッションにおいて「移動動作の現状について」を企画し、昨年度のKJ法の報告、調査報告、文献書内での移動動作の記述の検討結果を報告、学会誌(第9巻3号)の報告、10周年記念誌の原稿の検討。

